

第3回「真剣サポーターしゃ VER 場」メモ

日時：2014年8月30日（日）16時から

場所：東京ヴェルディクラブハウス

出席者：

■東京ヴェルディサポーターの皆様

8名

■クラブ側出席者

東京ヴェルディ 1969 フットボールクラブ株式会社

クラブマネジメント部…田中 知行、渡部 一幸

この度、東京ヴェルディではホームゲームへのご来場者数アップを目的として、サポーターの皆様とクラブスタッフによる意見交換の場、「真剣サポーターしゃ VER 場」を立ち上げました。第3回目のテーマは前回に引き続き、「2015シーズンのサポーターズクラブ、シーズンチケットについて」。当日ご参加いただいた皆様に議論、検討したアイデアをメモにまとめました。今後のオフィシャルグッズの展開するにあたり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。

□サポーターズクラブ、シーズンチケットに関する施策、制度、告知などについて

キッズ専用サポクラカードの設立をしてはどうか。キッズ会員には選手との交流特典など。

無料会員制度の導入を検討しては。

シーズンチケットが分割払いで買えるようにする。

1試合あたりの得する金額ではなく、元が取れる試合数を表記するのが良いのではないだろうか。

『料金〇〇〇〇〇〇円のうち、××××円は育成資金に充てられます…』など、クラブのためになるということを具体的に示す。

シーチケ、サポクラの複数年度申込制度の導入。

試合に勝った日にサポクラに入会すると入会金を値引き、連勝で半額…など割引制度を導入する。

ホームタウンの市役所、区役所でサポクラの入会を受け付け、ホームタウン割引を適用する。

他クラブでやっているように『サポクラ大使』を任命しては。

ホームゲームの告知活動と同じく、街頭でサポクラの会員募集のチラシを配布してはどうか。

来季の募集の際には特典などの詳細をご紹介する映像を作って、サポクラブースにモニターを置いてエンドレスで流す。

シーズンチケット販売数、サポーターズクラブ会員数をホームページなどで常に告知すべき。

先行入場時、一般入場待機列の方にも告知して、先行入場特典をアピールする。

サポーターズクラブブースの撤収が早い。勝った後には入ってみようと思う人もいるはず。

□会員特典について

制作に費用が掛かる特典を更新する方は望んでいるのだろうか。「ポンチョよりピッチサイドシート 1 回」だと思う。

『もの』よりも『権利』。選手を身近に感じられる体験型の権利が良いと思う。

ヴェルディ全カテゴリーを横断する特典の適用。

駐車券が必要ない方もいる。特典を 10～15 個くらいの中から選択制にはできないだろうか。「特典はいろいろ」という選択肢も用意しては。

以上